

ドローンで徳島県三好市山城町の山腹崩壊地の被災状況の調査を実施(第4弾)

平成30年 7月26日
徳島森林管理署

今般の平成30年7月豪雨では、徳島県内各地に多くの災害をもたらしましたが、三好市山城町内では、県道・市道の復旧が進むにつれ新たな山腹崩壊が確認されるなど、被災状況が判明してきています。

このような中、7月26日徳島森林管理署は、徳島県森林整備課からの要請を受け三好市山城町根津木(ねづき)地区の民有林で新たに確認された大規模な山腹崩壊地の早期の状況確認と復旧のため無人航空機(ドローン)の空撮による被災状況(位置、規模等)の調査を行い空撮データと分析結果を徳島県森林整備課に提供しました。

徳島森林管理署は、引き続き無人航空機(ドローン)を活用し、民有林被害発生時における初動活動の支援に、積極的に取り組んでまいります。



徳島署職員がドローンで被害状況を調査



三好市山城町根津木地区の災害現場